

競技上の注意事項(お願い)

1. 試合球は、ウイルソン「US OPEN EXTRA DUTY(エクストラ・デューティ)」とし、大会本部で準備します。若番(ドロー番号の小さい方の選手)が本部より受け取り、試合球として使用します。対戦後、開封されたボールは敗者が持ち帰ってください。
2. 服装についてはテニスウェアとし、全国高体連テニス専門部服装規定に則るものとします。また、ゼッケン着用による学校名の表示を励行します。ゼッケンは右胸に着用してください。
3. 試合は、可能な限りオーダー・オブ・プレー表の指示により進行します。前の試合終了後直ちにコートに入り試合を始めてください。
4. 全ての試合でアドバンテージ有りの方式を採用します。
5. 全ての試合でノーレットルールを採用します。サービスがネットに触れたとしてもインプレーとする方式です。
 - a. 選手がレットだと思ってプレーを止めた場合、その選手の失点となります。
 - b. 選手が誤ってレットのコールをした場合、1回目から失点となります。
 - c. 双方の選手等が気付かず、ノーレット方式を採用しないまま試合を進めてポイントが成立した場合、気付く前に成立したポイントはやり直しや変更等をせず有効となります。
 - d. S C Uが誤ってレットをコールした場合、ファーストサーブ、セカンドサーブに関係なくポイントレット(ファーストサービスからの打ち直し)となります。
 - e. ダブルスでは、レシーバー側の決められたサイドの選手がレシーブをしなければなりません。
※「ショートセット方式」(4ゲームでの試合)でのダブルスの場合は、ネットインしたボールをレシーバー側のどちらの選手でも返球できますが、ショートセット方式の採用予定はありません。
6. ベンチは本部に近い方を若番が使用します。
7. スコアボードは、コート後方のサイドライン延長線上の外側に置いてください。スコアボードは、上の段または審判台側または左側を若番が使用します。スコアの変更は、エンドチェンジの際に選手が行います。
8. 試合前のウォームアップは原則としてサーブ4本のみとします。ただし、上位戦は3分間練習を行うことがあります。3分間練習の際は、サーブから始めてください。
9. 25秒ルール・90秒ルールを厳守してください。
10. ボールパーソンは、各コート1名認めます。ボールパーソンは、原則としてテニスウェアを着用してください。(全国大会では、ボールパーソンが認められるのはシングルスのみです)
11. 体力の消耗によるM T O(メディカルタイムアウト)はありません。体力の消耗により遅延が生じた場合は、大会本部に速やかに伝えてください。その際、相手への1ゲーム譲渡につき2分程度のセルフケア(ダブルスであればペアのサポートは可能)の時間を、本部の判断により認めることがあります。(熊本県高体連の特別ルールです。他の大会ではこのような規定はありません)ただし、選手が危険な状態であると大会本部が判断した場合は、該当選手の途中棄権とします。
12. トイレットブレイクはありません。緊急にトイレに行かなければならない状況になった場合は、大会本部に速やかに伝えてください。その際、相手への1ゲーム譲渡につき2分程度の時間を、本部の判断により認めることがあります。(熊本県高体連の特別ルールです。他の大会ではこのような規定はありません)
13. タオルについては、コート後方に置くことを認めます。(熊本県高体連の特別ルールです。九州大会および全国大会においては、大会本部が準備するカゴや椅子に置くこととなっています。)
14. 荒天や試合の遅延などによる試合の中断、コート・会場の変更を行うことがあります。高体連テニス専門部ホームページからの情報にご留意いただくとともに、大会本部の指示に従ってください。雨天の場合も出場選手は一旦試合会場にて受付を行い、以後の日程の連絡を受け取ることを原則としています。

《全国選抜高校テニス九州地区大会熊本県予選（団体戦）の注意事項》

1. 登録選手および監督の変更については、届け出方法を確認の上、期日を厳守して行ってください。締め切り以降は、大会ディレクター（専門委員長）に連絡をお願いします。
2. 受付は、各会場において、開始式前までに各学校の代表者が行ってください。初戦の対戦が決まっている場合は、その際にオーダー用紙を提出してください。
3. 審判について
 - a. 1巡目から始まる対戦は、組合せ番号の早番がS1とS2とS3、後番がD1とD2のSCU（ソロチェアアンパイア）を行ってください。人数不足で審判ができないときは、相手に担当してもらうか、セルフジャッジで対応してください。
 - b. 2巡目以降から始まる対戦は、敗退校によるSCU（ソロチェアアンパイア）とします。敗退した学校は、本部にて審判を担当する対戦を確認してください。
 - c. 選手は、判定のコールを相手とSCUにはっきりと分かる大きな声とハンドシグナルを使って、ボールの着地後、速やかに行ってください。事実問題の最終裁定はSCUです。
 - d. 審判は、水分補給、帽子の着用、日傘の使用、防寒着等を用いて体調管理に努めてください。
4. 確認事項
 - a. 登録人数が3名以下になった時点で、オープン（3名の場合はS1D1、2名の場合はD1、1名の場合はS1）とする。
 - b. 初戦は原則として5ポイントすべて行う。人数の差異がある場合は人数が少ない学校の選手が重複して出場してオープンによる対戦を行うことを原則とする。
 - c. 試合開始にあたっては、両校監督・選手整列の上で挨拶を交わし、オーダー用紙の交換を行う。その際、登録選手は全員整列することを原則とする。
 - d. ベンチコーチの助言は、エンド交代時に限る。また、コートに入れる者は、監督または登録選手、各コート1名に限る。

《熊本県高等学校テニス新人大会（個人戦）の注意事項》

1. 受付は、各会場において、開始式前までに出場選手本人が行ってください。大会に参加できない生徒が出た場合の措置については、棄権とし、変わりの選手が出る時にはオープンとします。
2. 審判について
 - a. 各コート1巡目の対戦はセルフジャッジ方式で行います。
 - b. 2巡目以降は、原則として当該コートの前の試合の敗者によるSCU（ソロチェアアンパイア）方式で行います。
 - c. 選手は、判定のコールを相手とSCUにはっきりと分かる大きな声とハンドシグナルを使って、ボールの着地後、速やかに行ってください。事実問題の最終裁定はSCUです。
 - d. 審判は、水分補給、帽子の着用、日傘の使用、防寒着等を用いて体調管理に努めてください。
3. シングルスについて
 - a. 決勝戦を8ゲームズプロセットマッチで行い、他の全ての対戦を1セットマッチで行います。8ゲームズオールまたは6ゲームズオールでITF方式タイブレークを採用します。
 - b. 3位決定戦、5～8位決定戦を1セットマッチで行います。
4. ダブルスについて
 - a. 他の全ての対戦を1セットマッチで行います。6ゲームズオールでITF方式タイブレークを採用します。
 - b. 3位決定戦を1セットマッチで行います。
5. 全国選抜高校テニス大会における各都道府県個人戦代表の選手選出については、熊本県においては本大会シングルス競技の結果を基に選出します。